



ASAHIKAWA PROBUS CLUB · SINCE 2005

# 旭川プロバスクラブ

絆（きずな）

旭川プロバスクラブ  
会報 第199号  
発行 2022年1月  
会長 中田雅昭  
幹事 今津寛介

## — 1月FAX例会 —

ごあいさつ

会長 中田雅昭

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆様方におかれましては輝かしい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。と、言いたいところですが、やはりコロナ感染症オミクロン株の年明けからの急拡大で予想通りと言ったところでしょうか。この旭川でもここ数日で感染者数が増えていますので十二分にお気をつけください！

昔話をしますのでお付き合い下さい。私が20代半ばの時にハーレーダビッドソンで一人ブラリと帯広・釧路・根室・知床と道東方面にツーリングに行った時です。知床は羅臼の小さな港、八木浜港に立ち寄って漁船に近づいてどんな魚が捕れているのか見に行ったときです「おーい、兄ーちゃん、どっから来た！ ロシアの警備艇見せてやるから今晚ウチに泊まれ」漁師の方にそう声をかけられ、ついその気になってその日の夜は漁師の家に泊めてもらうことになりました。夜中の2時に起こされて、いざ出港です。向う漁場は知床と国後島との中間ライン。まだ薄暗い漁場近くには大砲の付いた大きなロシアの警備艇の近くで網を何本か巻き上げて帰港して、魚を網

から外すのを手伝って魚をお土産にもらってその時は帰って来ました。

既にその頃家業の農家をしていて冬は暇で、羅臼では冬はスケソウダラ漁で賑わっていて忙しいとの事で、「漁師の仕事も面白いかも」と11月から2月は漁師の仕事をしていました。釧路や根室、遠くは函館から来ている人たちと一緒に番屋暮らしです。浜育ちの人たちに混じって山育ちなので気性の荒いイントネーションの浜言葉で何を言っているのか判らないこともしばしば。11・12月はカレイやホッケ漁、時にはイカ釣です。カレイやホッケはロシアの警備艇のいた辺りかまだその先まで行き、シケ模様で警備艇のいない時に限って行くのですが船上も嵐でもう帰って来られないかも、と思うようなことも何度か。1・2月はタラコや明太子の原料となるスケソウダラ漁で、群れになって来る魚で、漁師は捕れる時に捕れるだけ捕るので、夜中の2時3時まで仕事して朝5時起床で意識もうろうになりながら仕事してたな～。その時の給料は1・2月分まとめてもらって、多いときで180万円。あれからスケソウダラはどこへ行ったやら。今では昔のような賑わいでは無い様です。1月のこの時期になると思いきや見に行きたいなと思ったりします。

## 今月は対外事業（活動）委員会の皆様です

皆さんご無沙汰してます！

佐々木 浩一

2022年明けましておめでとうございます。昨年引き続きコロナ禍の中ではありますが、何とか今年は皆さんとお会いできる日が出来たらうれしい

など思い、この文章を書かせて頂きます。

足掛け2年プロバスクラブとしての活動がなくなり、皆さんの顔を見る機会が減ってしまったのと、お辞めになった会員さんやお亡くなりになった会員さんにも本当に残念で仕方ありません！ 何もかもコロナのせいになりたいのですが、目に見えるものでない為避けて通るにもいかないのが困ったもので

す。

感染防止対策はしているものの、どこまでやればいいのかもはっきりせず、我々の会社でも従業員、お客様への対応も高価な清浄機など導入しても安心できません。

でも、最後は自分自身でこの感染症から守っていかねばならない気がします。普段から規則正しい生活と食べ物や運動など体力をつけて、負けない体を心がけていくしかないように思えます。そういっても当然うまくいかないことはありますが、プロバスの皆様は今年一年健康でいらっしやいますようお祈り申し上げます。

## 今年こそ良い年に

金田孝子

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願いいたします。

昨年を振り返ってみました。

友人、知人が3人もガンで亡くなりました。3人共60才代でした。今は2人に1人がガンにかかると言われてますが、早期発見で治らない病気ではないといえます。皆さん、健康診断とガン検はしましょう！

我が家はわずかな畑を作っているのですが、7月の暑さと雨不足で、じゃがいもが3分の1位しか採れず残念な結果に…。しかし、驚いたことに落葉きのこが大豊作で沢山採れまして、6才や10才の孫も目をキラキラさせながら採ってました。和え物や、お味噌汁にしておいしくいただきました。(雨不足なのに不思議・・・!?)

話は変わりますが、私、25年間着物の販売をしておりました。その時のお客様とお着物好きが集まり、月に一度着物姿で楽しんでいます。着物好きな方、大歓迎です。

## 汁のないお雑煮

木下雅之

大みそかに身内で不幸があり、バタバタの年末

年始でしたが、そんな中でも、なんとかお雑煮をつくって、食べることができました。

毎年、お雑煮をつくるのは、私の担当です。

お雑煮というと、汁の中に具とお餅が入ったものが一般的ですが、我が家のお雑煮は具の占める割合がほとんどで、汁があまり入っていません。更に、具の大半を占めるのが焼き魚です。

我が家のルーツである富山県では、お雑煮の具に魚を入れるそうなのです。

更に、黒部や魚津など、一部の地域では、具たくさんのお雑煮が多いそうです。

また、富山では、ブリやサバを用いることが多いらしいのですが、我が家では、北海道らしくカレイを使っています。

子供のころは、汁が少なく、食べづらいと思っていましたが、今では、このお雑煮を食べないと一年が始まりません。

数年前からは、このお雑煮を伝承していくために、娘と一緒に作るようにしていますが、結婚してしまったら、我が家のお雑煮はどうなってしまうのでしょうか・・・。

## コロナとお酒の記憶

小門史子

去年は、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が繰り返され、家飲みが続く日々でした。

私は、どんなお酒でも好きですが、3年くらい前から日本酒にはまっていて、コロナ禍の下、定期的に酒屋さんへ買い出しに行き、家での日本酒を楽しんでいました。得に、日の丸醸造株式会社の「まんさくの花」が好きで、ラインナップも豊富なので、様々な酒米の純米、特別純米、純米吟醸・・・と、どれほど飲んだかわかりません。

10月に緊急事態宣言が明けた後、家飲みはかなり減り、まんさくの花もしばらく飲んでいなかったのですが、年末に久しぶりにまんさくの花を飲んだところ、緊急事態宣言中の閉塞感、危機感など当時の感情がよみがえってきました。

懐かしい音楽を聴くと、当時の感情がよみがえる

ということを多くの方が経験されていると思います  
が、お酒も同じだということがわかりました。

今後も、まんさくの花を飲むたびにコロナ禍での  
生活を思い出し、危機管理を再確認することになり  
そうです

コロナをきっかけに!

齊藤正博

令和1年11月にプロバスの仲間に入れていただ  
いたと思ったら、年が明けたとたんコロナで皆様方  
とお会いする機会がなくなり、コロナでの自粛生活  
が始まりました。

## 締切りは2月17日! --- 雪の降る街を --- 第10回 旭川冬の写真コンクール

例年2月例会とシンクロして開催されている「雪  
の降る街を — 旭川冬の写真コンクール」(主催:  
ウレシパあさひかわ)は今回、第10回の節目に当  
たりますが、応募締め切りが迫ってきました。

特別賞(旭川市長賞)金賞(30,000円)、銀賞  
(20,000円)、銅賞(10,000円)のなど盛りだくさ

さて、この環境の中でどうしたものかと考えた時、  
自己に対しての見直しと、なにかに挑戦してみよう  
かと、まったく触った事ありませんでしたが、令  
和3年6月よりピアノに向かっております。俗に言う  
1曲でも弾けるようになりたいとの思いで現在ピアノ  
に向かっております。

又、現在自分が関わっている仕事に対しても生涯  
と決め、もちろんその前提には体の健康ですが、  
さてどこまで自分の思うような人生を歩く事ができ  
るやら・・・。

でも、一步一步自分らしく歩けたらと考えている  
今日この頃です。

旭川プロバスクラブは後援スポンサーとして  
旭川プロバスクラブ賞を提供しています。

会員皆さん、お気に入りの一枚を選んでぜひ応  
募し、栄冠をゲットしましょう! 詳細は

<https://asahikawa-photo.info/summary/> でご確  
認ください。

## 新型コロナウイルス感染拡大について

新型コロナウイルス変異株「オミクロン」の感染  
力はすさまじく、1月20日現在、国内コロナ感染  
者は累計200万人を超える勢いです。13都県で  
「まん延防止措置」の適用に続き、関西3府県が  
要請を決定、北海道でも適用要請が予想されます。

今回の第6波で特徴的なことは、従来のように  
特定の都市部に集中することなく、全域でまんべ  
んなく感染者が確認されていることで、これは明ら  
かに年末年始・成人の日の人流から、市中感染、  
全道まん延に繋がったものと思われます。

有識者会議の尾身茂会長は政府に対し、オミク  
ロン株の特性に沿った対応、つまりは繁華街への人  
出を減らす「人流抑制」から、飲食店などの「人  
数制限」へ対策をシフトすべきとの考えを示してい  
ますが、いずれにしても、マスクの着用、手洗い消

毒はもちろんのこと、換気の徹底、三密を避けると  
いう今までの基本的な対策に変わりはありません。

一部ではオミクロンは軽症で済むから大丈夫とい  
う考えもありますが、軽症者がキャリアとなって媒  
介する危険もあり、結果、乳幼児や基礎疾患のあ  
る方が感染し重症化する可能性を否定できません。

旭川市では既に100人に1人が感染し、その  
100人のうち3人は死んでいるという現実を侮らず  
またお会いできる日まで、どうかご自愛ください。

以下の数字は旭川市役所ホームページより  
旭川市人口(1月1日現在) 327,960人  
延感染者数(1月20日現在) 4,030人  
感染率(〃) 100人中 1.2人  
死亡率(〃) 感染者100人中 3.07人